

令和5年度  
静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会  
遠州流域治水協議会

取組の“見える化”

---

# 取組の“見える化”とは？

- 構成員が課題の実態を把握出来ていない取組については、具体的な課題解決へ向けた方向性を提示する必要があります。
- このため、取組の課題や背景、具体的な課題解決のイメージなどを“見える化”することで、取組の実効性向上を促します。
- 国内の先進的な事例の情報提供ではなく、構成員が抱える課題を有した地域を対象に関係者等とこのイメージを共有します。

《例》

洪水氾濫により、家屋周辺が浸水し、孤立化する可能性があるが、避難経路や避難場所をどのように設定したら良いか分からない．．．

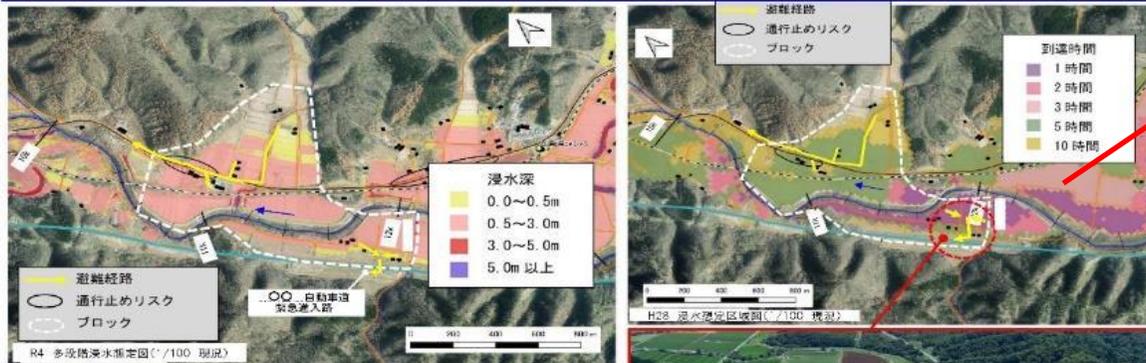
“見える化”により、  
課題解決のイメージ不足を解消、実効性向上

“見える化”資料のイメージ

## ブロック1[〇〇下流地区]の流域治水対策案

6

- 国道〇〇号通行止めリスクであるKP11.5からKP12.5の間に挟まれる〇〇川右岸の集落については、浸水が到達するまでの時間が5h程度と長く、浸水範囲外への避難距離も1km未満と短いことから、対策は不要と考える。
- KP12付近左岸の家屋については、浸水到達時間が短く、孤立化する可能性がある。〇〇道に緊急進入路及び避難ヤードを整備し、一時避難場所として活用することを提案。



家屋周辺の水災害リスク  
(浸水深・洪水到達時間)や  
通行止めリスクなど、現状  
の課題を“見える化”

避難経路や一時避難場所など、具体的な課題解決のイメージを“見える化”



# 【取組の見える化：立地適正化計画】 取組・課題の背景

- 令和5年度フォローアップ調査において、**立地適正化計画における防災指針の記載に関する課題**が挙げられた。
- 浸水想定区域などのイエローゾーンについては、“**建築や開発行為等の規制が定められていない**”ため、災害リスクの考慮は自治体の判断に委ねられている。
- 遠州地域で立地適正化計画が策定されている市町では、**菊川市と掛川市で浸水想定区域の災害リスクが明記**されている。

## 【令和4年度フォローアップ調査で挙げられた課題】

項目	概要
立地適正化計画における防災指針の記載	河川が多く、家屋倒壊等氾濫想定区域などの扱い検討する必要がある。 各市町(設定基準に)ばらつきがあるようである。

## 【居住誘導区域における災害リスクの取り扱い】

- 災害危険区域などの**レッドゾーン**については、「原則として、**居住誘導区域に含まないこととすべき**」とされている。
- 浸水想定区域などの**イエローゾーン**については、「原則として、災害リスク、警戒避難体制の整備状況、災害を防止し、又は軽減するための施設の整備状況や整備の見込み等を総合的に勘案し、**居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域**」とされている。

## 【遠州地域における居住誘導区域の設定基準（災害リスク）】

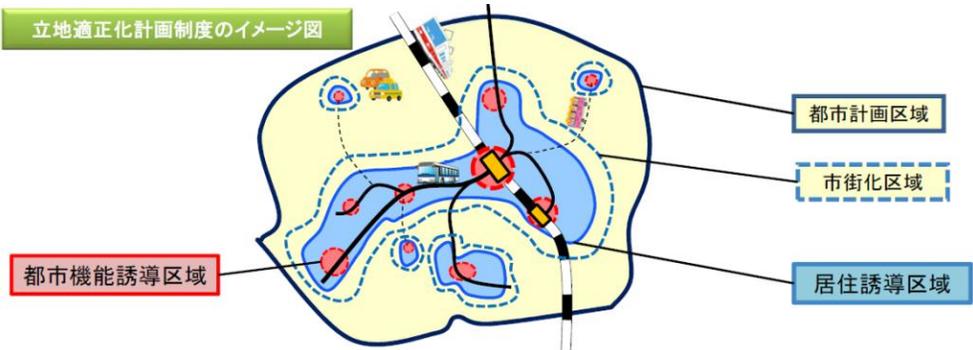
- 土砂災害に関する災害リスクについては、多くの自治体で、居住誘導区域に含まないとされているものの、洪水などの浸水想定区域については、居住誘導区域の設定に反映されていない自治体が多い。

居住誘導区域に含まない区域

区域	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	備考
レッドゾーン	災害危険区域	○	○				
	地すべり防止区域	○		○	○		
	急傾斜地崩壊危険区域	○		○	○	○	
	土砂災害特別警戒区域	○	○	○	○	○	
	浸水被害防止区域	未指定					
イエローゾーン	津波災害特別警戒区域	未指定					
	浸水想定区域			○※菊	○※掛		※菊：洪水浸水深2m以上 ※掛：洪水浸水深3m以上
	土砂災害警戒区域	○		○	○		
	津波災害警戒区域	未指定					
	津波浸水想定(区域)	○※浜			○※掛		※浜：L2ケース1(防潮堤整備後) ※掛：浸水深2m以上
都市浸水想定(区域)	未指定						

※各自治体の立地適正化計画より情報を抽出

## 立地適正化計画制度のイメージ図



都市機能誘導区域

都市計画区域

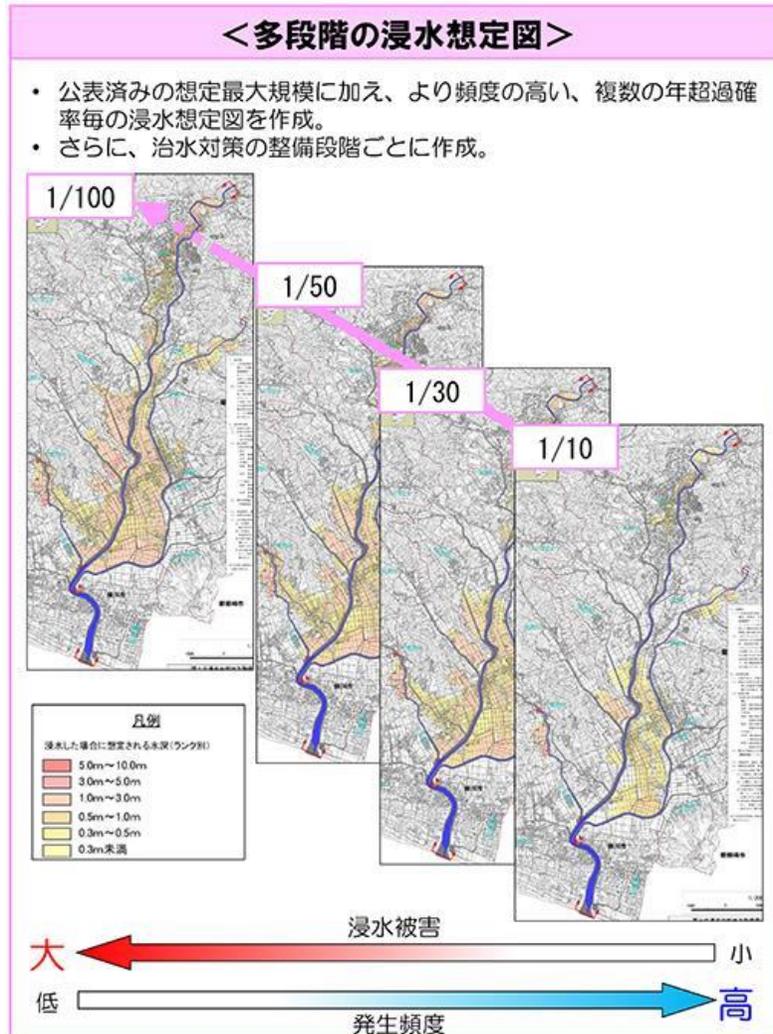
市街化区域

居住誘導区域

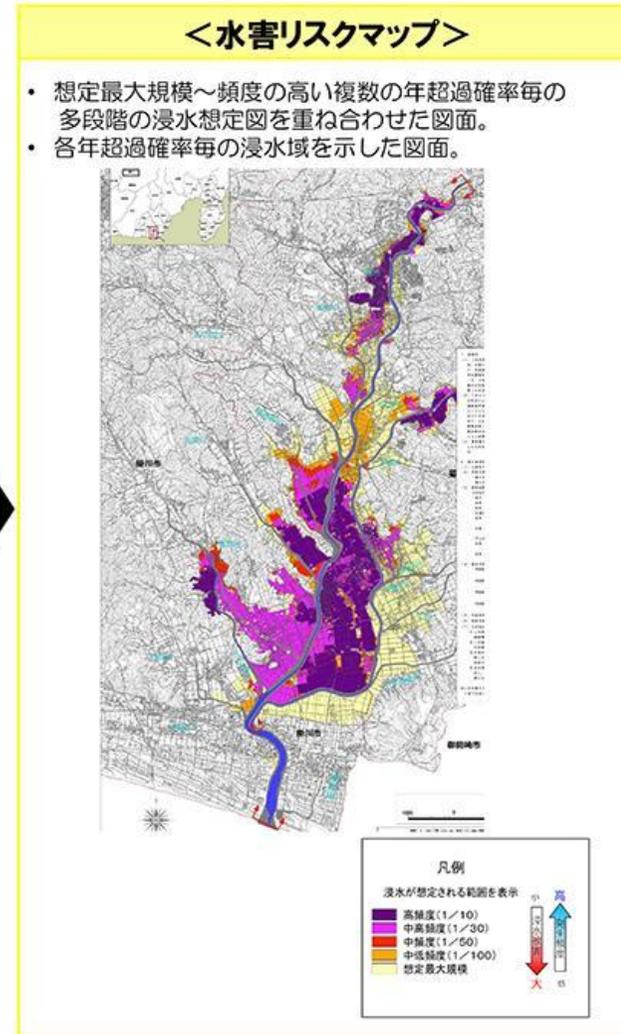
区域	指定	(参考) 行為規制等
レッドゾーン	災害危険区域 (種別別、洪水、津波等) <建築基準法(昭和53年法律201号)>	地方公共団体 *災害危険区域内における住居の用に供する建築物の建築の禁止その他の建築物の建築に関する制限で災害防止に必要なのは、前項の条項である。(法第39条第2項)
	地すべり防止区域 <国土交通法(昭和25年法律30号)>	*地すべり防止区域内において、次の各号の一に該当する行為は、都道府県知事の許可を受けなければならない。(法第18条第1項) ①の切削(高さ3m)、切土(奥高2m)等
	急傾斜地崩壊危険区域 <急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(昭和44年法律第27号)>	*急傾斜地崩壊危険区域内においては、次の各号に掲げる行為は、都道府県知事の許可を受けなければならない。(法第7条第1項) ①の切削(高さ3m)、切土(奥高2m)等
	土砂災害特別警戒区域 <土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(平成12年法律第57号)>	*特別警戒区域内において、都市計画法第4条第12項の開発行為で当該開発行為による土砂の区域内において建築物が予定されている建築物の用途が耐用用途であるものをしようとする者は、あらかじめ、都道府県知事の許可を受けなければならない。(法第10条第1項) ※耐用用途：住宅(自己用)、防災上の配慮を要するものが利用する社会福祉施設、学校、医療施設、
	浸水被害防止区域 <特定都市計画区域対策法(平成15年法律第27号)>	*浸水被害防止区域内において、特定開発行為は特定建築行為をする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。(法第57条第1項、第66条第1項) ※住宅や要配慮施設が条項で定める建築物及び当該建築物に係る開発行為
津波災害特別警戒区域 <津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)>	*特別警戒区域内において、法令で定める土地の形質の変更を伴う開発行為で当該開発行為による土地区域内において建築物が予定されている建築物の用途が耐用用途であるものをしようとする者は、あらかじめ、都道府県知事の許可を受けなければならない。(法第73条第1項) ※耐用用途：社会福祉施設、学校、医療施設、市町村の条項で定める用途	
イエローゾーン	浸水想定区域 <水防法(昭和24年法律第193号)>	なし
	土砂災害警戒区域 <土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(平成12年法律第57号)>	なし
	津波災害警戒区域 <津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)>	なし
	津波浸水想定(区域) <水防法(昭和24年法律第193号)>	なし
	都市浸水想定(区域) <特定都市計画区域対策法(平成15年法律第27号)>	なし

# 【取組の見える化:立地適正化計画】(参考)多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ

- 国土交通省では、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「**多段階の浸水想定図**」及び「**水害リスクマップ**」を、令和4年9月に公表している。  
※現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは、国管理河川の氾濫のみを表示。  
想定最大規模の浸水範囲は水防法に基づき平成28年12月、平成29年6月に指定・公表したため、前提としている降雨や河道条件等が異なる。



重ね合わせ



# 【取組の見える化：立地適正化計画】水災害リスクの分析・見える化

- 立地適正化計画や多段階の浸水想定区域図などこれらの情報を活用し、浸水が想定される区域について、居住誘導区域等に含まれる面積を各々の確率規模について確認し、各自治体における**水災害リスクを分析・見える化**した。

## 現況

※浜松市・磐田市は天竜川下流。菊川市・掛川市は菊川水系。袋井市・森町は太田川水系の洪水浸水想定結果を用いて概略検討した結果を整理  
 県管理河川における「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」は検討中

浸水深 50cm（床上浸水想定）以上

発生頻度		高																													
		多																													
洪水流量		多																													
河道条件		多																													
降雨規模		高頻度(1/10)						中高頻度(1/30)						中頻度(天竜川下流、菊川水系:1/50) 計画規模(太田川水系:1/50)						中低頻度(天竜川下流:1/100) 計画規模(菊川水系:1/100)						計画規模(天竜川下流:1/150)					
		浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町
市町村界	全域 [ha]	-	-	9,419	26,569	-	-	-	-	9,419	26,569	-	-	155,853	16,297	9,419	26,569	10,833	13,391	155,853	16,297	9,419	26,569	-	-	155,853	16,297	9,419	26,569	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	217.3	106.6	-	-	-	-	487.4	273.4	-	-	1532.5	1157.7	565.5	301.2	2770.8	370.3	3848.2	3864.7	719.0	383.4	-	-	5141.4	4877.8	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	2.31	0.40	-	-	-	-	5.17	1.03	-	-	0.98	7.10	6.00	1.13	25.58	2.77	2.47	23.71	7.63	1.44	-	-	3.30	29.93	-	-	-	-
立地適正化計画区域 (都市計画区域)	全域 [ha]	-	-	6,132	21,426	-	-	-	-	6,132	21,426	-	-	51,495	16,238	6,132	21,426	10,823	3,411	51,495	16,238	6,132	21,426	-	-	51,495	16,238	-	-	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	217.3	106.6	-	-	-	-	487.4	273.4	-	-	1532.5	1157.7	565.5	301.2	2770.8	368.5	3848.2	3864.7	719.0	383.4	-	-	5141.4	4877.8	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	3.54	0.50	-	-	-	-	7.95	1.28	-	-	2.98	7.13	9.22	1.41	25.60	10.80	7.47	23.80	11.72	1.79	-	-	9.98	30.04	-	-	-	-
居住誘導区域	全域 [ha]	-	-	442	-	-	-	-	-	442	-	-	-	4,982	1,862	442	-	760	154	4,982	1,862	442	1,857	-	-	4,982	1,862	-	-	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	6.8	-	-	-	-	-	23.5	-	-	-	349.0	124.7	29.3	-	264.6	66.7	672.2	342.4	37.1	0.3	-	-	789.3	407.3	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	1.54	-	-	-	-	-	5.31	-	-	-	7.01	6.70	6.63	-	34.80	43.22	13.49	18.39	8.39	0.02	-	-	15.84	21.87	-	-	-	-

※「-」: 浸水なし

現況時点では、中・中低頻度の洪水浸水想定で、広範囲での浸水被害が想定

## 中長期整備後(整備計画完了時点)

浸水深 50cm（床上浸水想定）以上

発生頻度		高																													
		多																													
洪水流量		多																													
河道条件		多																													
降雨規模		高頻度(1/10)						中高頻度(1/30)						中頻度(天竜川下流、菊川水系:1/50) 計画規模(太田川水系:1/50)						中低頻度(天竜川下流:1/100) 計画規模(菊川水系:1/100)						計画規模(天竜川下流:1/150)					
		浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町	浜松市	磐田市	菊川市	掛川市	袋井市	森町
市町村界	全域 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	9,419	26,569	-	-	-	-	9,419	26,569	-	-	-	-	9,419	26,569	-	-	-	-	9,419	26,569	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	0.8	-	-	-	-	5.6	9.4	-	-	-	-	282.5	200.8	-	-	2170.3	1713.4	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.00	-	-	-	-	0.06	0.04	-	-	-	-	3.00	0.76	-	-	1.39	10.51	-	-	-	-
立地適正化計画区域 (都市計画区域)	全域 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	6,132	21,426	-	-	-	-	6,132	21,426	-	-	-	-	6,132	21,426	-	-	51,495	16,238	-	-	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	0.8	-	-	-	-	5.6	9.4	-	-	-	-	282.5	200.8	-	-	2170.3	1713.4	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.00	-	-	-	-	0.09	0.04	-	-	-	-	4.61	0.94	-	-	4.21	10.55	-	-	-	-
居住誘導区域	全域 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,857	-	-	4,982	1,862	-	-	-	-
	浸水面積 [ha]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	380.3	143.1	-	-	-	-
	割合 [%]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	7.63	7.68	-	-	-	-

※「-」: 浸水なし

整備計画完了時点では、概ね浸水範囲が解消

# 【取組の見える化:立地適正化計画】 水災害リスクの分析・見える化

- 現況時点では、中頻度(1/50)・中低頻度(1/100)の確立規模における洪水浸水想定で、広範囲での浸水被害が想定されるものの、**整備計画完了時点では、概ね浸水範囲が解消される。**
- **防災指針への記載**を検討する際は、(内水や県管理河川などの洪水氾濫など)他の水災害リスクや**その他の災害リスク**などについても、**現状と将来の災害リスクを見える化**し、検討を進める必要がある。

中低頻度(天竜川下流:1/100)  
計画規模(菊川水系:1/100)

現況

中長期整備後(整備計画完了時点)

